

平成25年度 食育推進事業 実施状況（平成26年3月末現在）

参考資料

《基本目標》 食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

推進の柱	取り組みの方向性	ページ数
① 食を通じた健康づくりを 実践しよう	①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします	1
	①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ，情報発信と支援を充実させます	6
	①-C 大学等関係機関と連携し，若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します	15
	①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と，健康相談の機会を増やします	16
	①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくれます	20
	①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます	23
	①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします	24
② 地域の食文化を伝えあおう	②-A 地域のつながりをベースに，お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます	27
③ 地産地消をすすめよう	③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します	28
	③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流，体験の場をつくれます	29
④ 食品を選ぶ確かな目を持つよう	④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます	35

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

- ・各団体や市のホームページに情報掲載
- ・「食育月間」「食育の日」「食生活普及運動」での情報発信
- ・スーパーマーケットでの啓発活動
- ・市民講座、消費者向け講座の実施

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
市民向け冊子の配布	一般市民	・食の大切さやより良い食事に関する啓発	通年		仙台歯科医師会
歯と口の健康づくり 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月8日	504名 豆つかみ・折り紙・栄養相談 60名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
栄養ヘルスダイアル	一般市民	・健康や栄養、食生活、生活習慣病に関して、電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。	通年	12件	宮城県栄養士会
はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	・はやね・はやおき・あさごはんの歌を店内で放送、ポスター掲示やパンフレットを配布し、運動の周知をはかる	3回	「はやね・はやおき・あさごはん」の歌の店内放送の再開はありませんでした。2013年度は店舗で「しっかり朝食フェア」を年3回実施し朝食をとる大切さをお知らせしました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
スーパーマーケットの啓発活動	一般市民	・ホームページを活用した食情報の提供	通年		日本チェーンストア協会東北支部
食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食品に関する様々な情報を市民に発信する。 ①消費者月間記念講演会の開催 ②消費生活講座の開催	①開催日 5月25日 ②開催日 1月30日	①テーマ：「食の情報のウソ、ホント?～安全な食品の選び方・食べ方とは～」 ・参加者数：153人 ②テーマ：「おらほの郷土食～地元の魅力、再発見!～」 ・参加者数：65人	市民局
学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	1月27日～31日	給食メニュー提供数 210食	教育局

仙台市ホームページ「杜の都のわくわく食育ねっと」	一般市民	・食育事業の紹介，食育推進隊などの活動紹介，関係機関等へのリンクなど，情報を発信	通年	随時更新	健康福祉局
各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用，おすすめレシピ紹介，関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド，健康づくりサポート店，生活習慣病予防の食生活等のパネル展示，レシピや資料配布	通年	各区役所，総合支所に設置	各区保健福祉センター 総合支所
食育の日（毎月19日）アピール	一般市民	・宮城地区まつりに参加して，「食育の日」のチラシとティッシュを住民に配布	11月4日（月）	いきいき健康広場（宮城保健センター）150名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会
食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・各区役所，総合支所にてパネル展開催，レシピ・バランスガイド等関係資料を配布 ・市政だより，区ホームページ，庁内放送，庁内ディスプレイ等による普及啓発 ・プレハブ仮設住宅，民間賃貸住宅入居者に関係資料配布 ・食育月間に，児童館・児童センター，大学・専門学校等にポスターや資料等の掲示	6月 9月 毎月19日	各区，総合支所ごとに，より広く啓発できるよう，関係方面と連携しながら実施している	各区保健福祉センター 総合支所

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

- ・ホームページに情報掲載
- ・子育てについてのイベントなどで情報発信

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
泉こどもの日フェスティバル	一般市民	・豆つかみ，はし袋作り	5月5日	50名程度 豆つかみは，親子で競ったり何度もチャレンジする児もいて大盛況でした	仙台市地域活動栄養士会
仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や，離乳食，幼児食などの情報を提供	随時更新	随時更新	子供未来局
防災に対する情報提供【新規】	一般市民	・乳幼児がいる家庭に，非常食や備蓄品についてのリーフレットを配付	通年	5450部	保育所 保育所連合会 子供未来局
健診，教室等での情報提供	一般市民	・幼児健診，離乳食教室，幼児教室，訪問栄養相談などにおいて，親子の食生活について情報提供	通年	各区役所，総合支所ごとに通年実施	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	・いずみおやこフェスティバル 郷土料理・手作りおやつ紹介 季節の野菜・イモの実物展示 等	1回 10月	467名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより、市民の食育活動への参加を促します

- ・レシピ、メッセージ、写真などの募集
- ・スーパーマーケット、飲食店等からコンテスト入賞作品等の情報を広く発信

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局

具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり、活動についての情報を広く発信します

- ・「仙台食育推進隊」の登録推進、活動状況の発信
- ・自主活動に取り組む市民の育成と活動支援

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	・「仙台食育推進隊」の募集、登録。また、活動状況や情報をホームページなどで市民に提供	通年	登録数 18団体・個人	健康福祉局
「仙台食育推進隊」交流会	登録団体・個人	・交流会を開催し、情報交換やネットワークを広げ、活動の一助とする	未定		健康福祉局
食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	・食の講座や個人への普及啓発等のボランティア活動のための情報提供、助言 ・推進員養成の支援	通年 育成研修会 2月24日予定	宮城、秋保、泉各食生活改善推進員会への支援	健康福祉局 泉区保健福祉センター 宮城・秋保総合支所
食育サポーター養成講座	食育に関心のある市民	・地域で活動ができる食育サポーターを養成する ・今年度は、高砂市民センターと共催で、「郷土料理」をテーマとした内容で実施。	5月～9月 7回実施	参加実人数 17人 参加延べ 65人 サポーター登録 9人	宮城野区保健福祉センター
食育サポーターの活動支援	食育サポーター	・食育サポーターの研修や活動の場の提供、紹介等	①スキルアップ講座1回 ②サポーターによる健康教育1回	①参加11人 ②従事3人	宮城野区保健福祉センター
「いずみ食育の輪」の支援	登録団体・個人	①「いずみ食育の輪」（食育活動を行うボランティア団体等）の活動をホームページや食育月間パネル展等で紹介する ②「いずみ食育の輪」の団体が主体的に開催している交流会への支援 ③食育をすすめる情報交換会（各団体の活動の充実をはかるための情報交換・研修会）の開催	①ホームページ更新1回 ②3回 6,10,3月 ③1回 12月	②自主交流会参加 延べ17団体 延べ38名 ③6団体 7名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます

・大学生、専門学校生等自らによる食育推進活動支援や、協働企画による、イベント、コンテスト等の実施【新規】

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
食育推進委員会の設置・実施による東北地区の食育推進活動	大学生	・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生さんが集まり、大学生協の食育推進をどうするかを検討。	6月・9月・3月	15人程度の参加者で定期的 に開催。それぞれの大学生協 の取組の良さを学び、自大学 で実施ができるよう交流を 行った。	宮城県生活協同 組合連合会（大 学生協）
大学生による食育プロジェクト	市内、近郊の大学の学生	今年度のミッション「自炊初心者のためのガイドを作ろう」 ・企画員を募集し、月2回のペースで企画会議を開催 ・自炊を始める人向けのガイドどしレシピ集の作成 ・食育啓発活動の企画、準備	企画会議6月～ 12回開催 レシピ集試作会 11月16日実施	プロジェクトメンバー24名	健康福祉局
若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・ニュースレターとホームページによる健康づくりの普及啓発（記事内容：生活リズムと朝食、太りにくい食べ方セオリー、協働事業である調理実習の実施報告など） ・協働による事業実施（食生活や生活リズムについての講話、調理実習や手洗い実習、献血時不採血者への個別相談、食生活ボードアンケート、専門学校教員への指導媒体提供など）	3回 6校延べ 8回	32か所へ送付（学校本部など含む） 集団指導469名、献血時個別相談1校2回95名	青葉区保健福祉センター
食を通じた子どもと高齢者交流	小学生 大学生 高齢者	・大学周辺の桜ヶ丘地域の小学生・大学生・高齢者が食を通して交流する機会を設け、昔のおやつ物語探検、お弁当プレゼント、茶道体験、クリスマスパーティーなどを通して、互いを知る。（平成22年度より継続）	6月15日(おやつ) 9月7日(弁当) 10月12日(茶道) 12月21日(クリスマス) の計4回	延べ参加者数 小学生76名 お年寄り10名 大学生24名	宮城学院女子大学
魚を題材とした食育活動	小学生・教員 大学生	・丸ごと1尾魚を調理し、生物を食べることを知る。加えて本年度は缶詰などの身近な加工品を使って、魚料理が作れる体験も行なった。（平成22年度より継続）	5月11日	児童18名、大学生6名	宮城学院女子大学
大学生の食育活動「おいしい放課後」	大学生	・大学生が、自分たちの食生活をよりよくしていく力を養うための講座「おいしい放課後」を企画・運営する。（平成19年度より継続）	7月5日、11月5日 の計2回	大学生65名	宮城学院女子大学
地域の食イベントへの参加	幼児、小学生	・鳴子食楽祭りに参加して、子どもへの食育活動（フェルト製の実物大料理を使って、3・1・2弁当法を伝える）を行う。	6月22、23日	大学生10名 地域の子供や家族等 計60名程度	宮城学院女子大学
「おいしい放課後」ジュニア	中学生	仙台市福沢市民センターにおいて、地域の中学生が参加する取組を行った。中学生の放課後活動であることから、「おいしい放課後」ジュニアとした。参加中学生が数名であることから、中学生と相談してメニューを決めて進めた。12月には地域の方をお呼びして交流活動も行った。	8月10日 10月14日 12月22日	延べ中学生16名 大学生10名、地域の方2名	宮城学院女子大学

ホーム&キッチン&ダディ～仕事、家庭、ときどき料理～	父親世代	仙台市宮城野区中央市民センターで、父親が食事作りに参加することで、家族での共食が増えることをねらいとした取り組みを行った。8月には家族を交えた食事作りも実施した。大学生にとっても、社会人に接する機会となっている。月1回18：30～20：30。	4月～10月まで 月1回計7回	延べ参加者（父親世代） 90名、大学生35名	宮城学院女子大学
ランチ作り隊	小学1～3年生	夏休み中に、児童クラブに通う児童や地域の児童を対象に昼食作りを行い、家庭での実践につなげられるようにした。4日間実施したが、希望者が多かったため、1日に2クラスに分けて実施した。また、小学4年生から中学2年生と大学生が、参加者のサポートにあたった。（平成22年度より継続）	8月6、7、 21、22日の計 4回	延べ参加者数 小学1～3年149名 小学4～中2年60名 大学生28名	宮城学院女子大学
さくらっこニコニコキッチン	小学1～中学2年生	大学近隣の桜ヶ丘地区の児童生徒による月1回の活動。上記「食を通した子どもと高齢者の交流」「魚を題材にした食育活動」はこの活動の中で実施されたものである。基本的に活動内容は参加児童ともに決める。また、各回2～3名のリーダーの児童と大学生が具体的なメニュー等を決めながら進めている。11月には家族を招いて活動報告を行う。（平成21年度より継続）	4月～12月まで 月1回計9回	延べ参加者数 小学生171名 中学生31名 大学生55名	宮城学院女子大学

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します
 ・園児と保護者の食生活の実態把握と情報提供【新規】
 ・家庭における食生活の実態把握

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	・幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する	通年	通年	各区保健福祉センター 総合支所
幼児健診、離乳食教室、訪問栄養相談での把握	乳幼児の保護者	・問診票、アンケート、聞き取り等による食生活状況の把握	通年	離乳食教室のアンケート調査を継続実施中	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします
 ・離乳食、幼児食講座、試食会、料理教室
 ・献立表、お手伝いカード、給食だより、保育参観などでの働きかけ

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
食育演劇チームによる公演	幼児・児童保護者	・幼稚園などで食育劇を公演	11月29日 11月30日	親子 60組 親子 20組	仙台市地域活動栄養士会
小さな子どものお食事&クッキング	子育て中の親子	・託児つき料理教室、栄養講話 ・非常時に困らない食生活のすすめ	7月11日	17名 好評	仙台市地域活動栄養士会
ガス局料理教室への講師派遣	親子	・親子の料理教室と栄養講話	年 12回	延べ 240組	仙台市地域活動栄養士会
子育て応援キッチン	子育てサークル	・講話と簡単な調理実習	H26.1.16	親子 12組	仙台市地域活動栄養士会

給食試食会と食事のバランスについての講座	園児・未就園児の保護者	・仙台市私立幼稚園連合会の各地区研修部、推進委員を通して働きかけ、各園の状況に合わせて実施 ・食に関心を持つ（食材の工夫、栄養のバランス）	通年		幼稚園 私立幼稚園連合会
離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	4月～3月 240回	852名	保育所 保育所連合会 子供未来局
献立表、給食だよりの働きかけ	保育所入所児家庭	・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。	通年 3月に配布	公立46施設 8,886名 ランチョンマット：11,787 家庭	保育所 保育所連合会 子供未来局
地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	地域の子育て中の保護者	・乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	実施回数 31回	参加者 延べ583名 個別相談 15名	各区保健福祉センター 総合支所
幼児食相談会	概ね1歳～1歳4か月児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	5回	参加者48組	青葉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し、調査結果を活用して健康教育を実施します
・健康実態調査の実施とその結果を活用した健康教育

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし、取り組んでいく。	平成24年～平成28年 健康教育研修会 8月5、6、8日	健康教育推進校3校が公開授業を行い、市内中学校へのプランの啓発を図っている。教職員、一般市民を対象とした健康教育研修会を実施した。（延べ503名参加）	小・中学校 教育局
健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力、食習慣についてその実態を把握し、分析検討を加え、もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	5月～7月	小・中・高校生を対象に調査を実施し、「健康実態調査報告書」を発行した。	市立学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます
・「食に関する指導の全体計画」「学年毎の年間指導計画」に基づく、学校の教育活動全般で食育推進

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直し	小・中学生	・「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直しを行い、各教科や特別活動及び学校の教育活動全般において食育を推進する。	通年	今年度発行した「食に関する指導の手引」（改訂版）において、食物アレルギーの指導を「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」に位置付けたモデルを提示した。	小・中学校 教育局

給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、各学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。 「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。 	通年	各校の指導計画により、担任を中心に、給食時間を利用した食育を行った。	小・中学校教育局
「給食週間」	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 給食に感謝する催しを開催する。 	1月	児童・生徒を中心に各学校が内容を工夫して催しを開催した。	小・中学校教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

- 給食試食会、親子料理教室の実施
- 保護者懇談会、PTA活動などの場で情報発信
- 献立表、給食だよりでの周知

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 親子料理教室等の開催 給食試食会 栄養士さんの講話 ミニ菜園づくり など 	通年	各学校、学年による	仙台市PTA協議会
保護者への啓発	保育所入所児童の保護者	<ul style="list-style-type: none"> 給食だよりに食育活動報告を載せ、保護者に周知する 懇談会や給食試食会を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 給食だよりは通年 懇談会や給食試食会は随時 	公立46施設、私立87施設	保育所 保育所連合会 子供未来局
献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 献立表や給食だよりなどを通じた食育活動の周知をする。 食物アレルギーへの対応について周知する。 	通年	各学校において、毎月の献立表や給食だよりを各家庭に配布し、啓発を図った。 栄養教諭・学校栄養職員が内容を工夫し、食育推進の啓発に努めた。	小・中学校教育局
「望ましい生活習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会や給食試食会などを利用して、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。 	通年	各学校において、通年にわたり啓発を行った。 生活習慣チェックカードでの啓発や、行事を利用した講話等を行った。	小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局
市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者、市民	<ul style="list-style-type: none"> 食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催) 	6月18日	182名参加。食物アレルギーを有する乳幼児、児童生徒への仙台市の取組の説明と専門医の講演、希望者に対する相談会を実施した。	子供未来局 教育局
市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者、市民	<ul style="list-style-type: none"> 家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放) 	8月8日	203名参加。川島隆太教授の講演会を実施。川島教授、仙台市PTA協議会長、市内中学生らとパネルディスカッション等を行った。	教育局

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

- ・学校健診の場で指導
- ・嘱託歯科医による講話など

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
仙台市立学校健診 腎臓病精密検査 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を継続的に実施。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図った。	平成25年6月～ 平成25年10月	腎臓病精密検査実績314名 糖尿病精密検査実績25名 生活習慣病検査実績195名 貧血検査実績181名	仙台市医師会
学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などでの食事指導	通年		仙台歯科医師会
支援学校での摂食指導	児童・保護者職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	3回		仙台歯科医師会
子育て講座への講師派遣	就学児の保護者	・就学時健診時に保護者に対する栄養講話	11月7日 11月14日	150名 80名	仙台市地域活動栄養士会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

- ・教諭、栄養士、保育士等食育担当者の研修会や実践研究
- ・食物アレルギーについての助言

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・仙台市内保育所等へ食物アレルギー対応（改訂版）を活用し指導・助言を行った。 ・「食物アレルギーとその対応」と題して、仙台市立保育所および私立保育園の保育士と嘱託医に対して研修会を開催した。	・通年 ・9月10日（火）	研修会参加者343名	仙台市医師会
保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する ・保育所連合会栄養士研修で食育への理解を深め、施設での実践につなげる。	・11月22日 ・9月11日	・H25ブロック別児童福祉施設給食関係者研修会で研究発表をする。 ・栄養士研修会：132名参加	保育所 保育所連合会 子供未来局
保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	・調理実習や講義の研修を通して、食育やアレルギー対応への理解を深める。	10月10日・11日 11月14日・15日	調理実習：66名 講話：58名	保育所 保育所連合会 子供未来局
業務研修	保育士	・職場内で食育の研修を実施し、職員間での共通理解を深め実践につなげる。	保育所内OJT 通年 53回	公立46施設 839名	保育所 子供未来局

食べることが楽しくなる食育	教諭・職員	・各地区毎の研修会において、食育推進計画の主旨、内容を伝え、今まで各園で実施してきた活動の見直しや、他の園はどんなことをやっているのか、情報交換の場を設ける	通年		幼稚園 私立幼稚園連合会
食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	5月17日 通年	食物アレルギー研修会の実施。214名参加。学校での実践発表、専門医からの講話。エピペン研修、54校訪問。	小・中学校 教育局
	保育所職員【新規】	・「エピペン®」について乳幼児がいる保育所（園）において研修会を実施する	9回	139名	保育所 子供未来局
食育講演会	学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	8月6日 8月8日	延べ328名参加。オリンピック選手の管理栄養士による講演。川島隆太教授による朝ごはんを中心とした生活習慣についての講演。	小・中学校 教育局
「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切にすることをはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。	通年	小中学校がブロック毎にテーマを設け、研究を行っている。今年度は施設見学会も実施。	小・中学校 (仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会)
学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、講演会や調理実習、施設見学などの研修を行い、資質向上をはかる。	通年	宮城の食材を取り入れた調理実習や食育の授業づくりの研修を実施。	小・中学校 (仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会)
食育情報交換会	児童館・保育所・せんだい保育室・幼稚園・小中学校の職員、食生活改善推進員等	<取り組み事例紹介> ・青葉区保健福祉センター：妊産婦、乳幼児親子に対する食に関する支援について ・仙台おさかな普及協会：学校や保育所での食育活動、料理教室など ・仙台宮城食生活改善推進員会：親子で野菜を食べよう講習会、おやこの食育教室など <情報交換> 地域ごとにグループに分かれ、現在の取り組み状況、普段感じている課題、今後必要と思われる取り組みなどについて話し合う	12月1回	34名 栄養士・保育士・調理員・教員など、様々な職種が参加。	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
食育担当者情報交換会	保育所、幼稚園、学校の職員	・講演、事例発表、情報交換 ・「食を通してすすめる幼・保・小の連携」をテーマにスタートカリキュラムについての講話と情報交換・意見交換	12月17日	参加人数 42名(39施設)	太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

- ・母子健康手帳交付時、母親教室、両親教室での相談・指導
- ・育児教室、幼児健診での啓発、相談・指導
- ・離乳食教室、訪問栄養指導

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行った。また支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導を行った。	通年	妊婦健診実績 延べ 117,729名	仙台市医師会
母子手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指導	通年	母子健康手帳交付説明会： 116回 母親教室・両親教室（食生活指導）：35コース 42回	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
妊産婦食生活相談	妊産婦 その家族	・来所による妊娠中の食生活についての個別相談	開催回数12回	延べ168人	宮城野区保健福祉センター
乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施した。	通年	乳児健診実績 27,352名 1・6歳児健診実績 8,842名 3歳児健診実績 8,575名	仙台市医師会
3,4か月児育児教室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	通年	開催回数 225回 対象者数：9,732名	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
マミーズクラブ同窓会での啓発	母親教室卒業生（乳児の保護者）	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布 ・離乳食の始め方についての講話・個別相談	7回	89人	青葉区保健福祉センター
離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発（太白）	通年	開催回数 66回	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
1歳の歯みがき教室	幼児の保護者	・望ましい食習慣確立に向けての講話と相談	月1回 12回実施	参加延べ数 303組 個別相談 75件	泉区保健福祉センター
1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診における啓発	幼児の保護者	・幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談 ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発（2歳6か月児歯科健診集団指導時：太白）	通年	1歳6か月児健康診査：209回 3歳児健康診査：217回	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所

育児相談	乳幼児の保護者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応についての確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援	①高砂保健センター12回 ②岩切保健センター8回 ③茂庭台市民センター3回	①延べ数183人 ②延べ数93人 ③述べ数16人	宮城野区, , 太白区保健福祉センター
			所内 12回 保健センター24回	所内 95件 保健センター 95件	若林区保健福祉センター
			所内6回 4~2月	97件	泉区保健福祉センター
育児相談 (幼児健診事後)	乳幼児の保護者	・1歳6か月児健診, 2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で, 幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	2回 9・12月	18組	泉区保健福祉センター
訪問栄養指導事業	おもに妊産婦, 乳幼児の保護者など	・家庭訪問により, 生活実態に合った具体的な支援をする	通年	妊産婦 2件 乳児 765件 幼児 15件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
訪問相談	地域の子育て家庭保護者	・地域子育て家庭へ訪問し, 乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う	通年	訪問件数 14件	保育所 保育所連合会 子供未来局
食生活・栄養相談	乳幼児の保護者	・電話, 来所による栄養相談	通年	妊産婦 延べ78件 乳幼児 延べ1317件	各区保健福祉センター 総合支所

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります
・地域の育児サロン, 保育所, 幼稚園, 児童館, 社会学級等と連携した食事相談, 講座

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
市民センター, 児童館への出前講座	地域の子育て家庭保護者	・児童館, 市民センターで離乳食講座, 幼児食講座を実施し(出前講座), 生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える	6回	延べ194名	保育所 子供未来局
親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として, 栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う(各小学校の社会学級やPTA等に委託)	6月~12月 50校延べ81回	参加者 延べ3,675名	教育局

親子食育講座への講師派遣	小学生とその保護者	・調理実習と食育講話	6月11日 6月27日 7月10日 10月15日 11月28日	35組 68名 110名 20組 13名	仙台市地域活動栄養士会
児童館などと連携した健康教育, 食育講座	乳幼児の保護者	・生活リズムや食習慣についての講話や個別相談, 情報提供, 資料配布, 情報交換の場の提供	3回	市民センターでの栄養講話 1回 4組 幼稚園・児童館での個別相談会 2回 7組	宮城総合支所
若い年齢層への健康教育	子育て世代	・離乳食, 食育, 生活習慣病などをテーマとした健康教育	乳幼児向け7回 学童期保護者向け2回	46組(①-B-2再掲) 182名(就学児健診, 入学説明会での子育て講座)	太白区保健福祉センター
食育講座	育児グループ 幼稚園児の保護者	・食習慣や生活のリズムについての講話と調理体験 ・食と運動を組み合わせた家族の健康づくりのための講座	9月 1回 11月 1回	20名 11名	秋保総合支所
保育所などと連携した健康教育	乳幼児の保護者	・保育所地域子育て支援センターとの連携による離乳食教室(調理実習)	1回 9月	14名	泉区保健福祉センター
児童館などと連携した健康教育	小学生	・望ましいおやつづくりのやり方やバランスのよい食事についての講話, 資料配布等	5回 7~8月	158名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関, 関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます
・民生委員, 保育所, 幼稚園, 児童館職員等を対象とした研修, 情報交換会

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
食育情報交換会 《①-B-7再掲》	児童館・保育所・せんだい保育室・幼稚園・小中学校の職員、食生活改善推進員等	〈取り組み事例紹介〉 ・青葉区保健福祉センター：妊産婦、乳幼児親子に対する食に関する支援について ・仙台おさかな普及協会：学校や保育所での食育活動、料理教室など ・仙台宮城食生活改善推進員会：親子で野菜を食べよう講習会、おやこの食育教室など 〈情報交換〉 地域ごとにグループに分かれ、現在の取り組み状況、普段感じている課題、今後必要と思われる取り組みなどについて話し合う	12月1回	34名 栄養士・保育士・調理員・教員など、様々な職種が参加。	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
子育てネットワーク会議	保育所, 幼稚園, 児童館, 市民センター, 育児サークル, 託児ボランティアグループ, 社協等	・子育てネットワーク会議の中で, 食育の活動についての情報提供および情報交換を行う 管内幼児健診の問診票, 栄養相談等の実施状況より, 地域幼児の食事傾向, 保護者の食事に関する悩み等の傾向について情報提供を行った。	5月28日	36団体参加	宮城総合支所

食育担当者情報交換会《①-B-7再掲》	保育所、幼稚園、学校の職員	<ul style="list-style-type: none"> ・講演、事例発表、情報交換 ・「食を通してすすめる幼・保・小の連携」をテーマにスタートカリキュラムについての講話と情報交換・意見交換 	12月17日	参加人数 42名（39施設）	太白区保健福祉センター
食育推進連携事業「Morning Vegetable～朝食に野菜を～」	保育所、幼稚園、学校の職員	<ul style="list-style-type: none"> ・推進メンバーでの取り組みの報告、情報交換 	2回(5・2月)	参加人数 延べ34名	太白区保健福祉センター
学校・保育所・地域栄養連絡会	小・中学校栄養教諭・栄養士、支所栄養指導員	各ライフステージごとの食生活の課題を共有し、地域全体の食育の推進を図る。	10月 1回	出席者 6名	秋保総合支所
地域子育て交流会	いずみ食育の輪、育児サークル、育児サロン、のびすく泉中央、泉区中央市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ①交流・情報交換 ②いずみおやこフェスティバル実行委員会 ③いずみおやこフェスティバル《①-A-2再掲》 	<ul style="list-style-type: none"> ①2回 6・9月 ②5回 7～11月 ③1回 10月 	<ul style="list-style-type: none"> ①延べ 37団体 84名 ②延べ 36団体 49名 ③51団体 82名 一般参加 467名 	泉区保健福祉センター
食育をすすめる情報交換会《①-A-4再掲》	いずみ食育の輪、児童館、児童センター、育児サロン、のびすく泉中央	<ul style="list-style-type: none"> ・活動発表 ①地域の乳幼児を対象とした食育（児童館） ②食育サポーターによる児童館での食育～絵本や紙芝居を活用した食育活動～ ③いずみ食育の輪の取り組み～「子育て応援倶楽部いずみん」で“ずんだもちづくり”を実施して～ ・情報交換等 ①参加団体の活動紹介 ②今後力を入れて取り組みたいこと ③今後の向けての意見交換 	1回 12月	13団体 15名	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

- ・学生食堂での取り組み
- ・若い世代向けの資料の作成と活用【新規】
- ・健康情報の提供や、イベントでの啓発等【新規】

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
ミールカードによる食事を摂る取り組みの推進	大学生	・食堂利用定期券「ミールカード」により、「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する	通年	東北地区全体で8,132人の申込となった。 内、新入生の申込は3,458人となり、昨年と比べ若干減少した。	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）
管理栄養士による「食生活相談会」の実施	大学生（東北大）	・東北大の各キャンパスにて、管理栄養士による食生活相談会を実施。 ・大学生協の食堂で使用している「三群点数法」を使用しながら、普段の食生活を振り返り、指導を行う。	10月に2回実施	東北大の2店舗で実施。相談時間帯が午後からで短いこともあり相談人数は3名と少なかったが、個人の相談十分に時間が取れた。	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）
大学生による食育プロジェクト	大学生	・各種イベントなど若い世代が集まる場での啓発活動をメンバーが企画し実施 ・昨年度の当プロジェクトで作成した媒体も活用 ①聖和学園短期大学での講話 ②仙台市PTAフェスティバルにて体験型の食育ブースを開設 ③仙台市成人式「知っておきたい20歳の健康」ブースにて啓発物配布	①9月17日 ②11月10日 ③1月12日	プロジェクトメンバー24名 ①1, 2年生 185名 ②主に小・中学生とその親 延べ600名 ③食生活Q&Aカード入りティッシュ300個配布	健康福祉局
若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・職員や学生に向けた健康情報（ニュースレター）の発信（記事内容：生活リズムと朝食、太りにくい食べ方セオリー、協働事業である調理実習の実施報告など）	3回	32か所へ送付（学校本部など含む）	青葉区保健福祉センター
食育講座	小・中学校の保護者、高校生、大学生	・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。	開催回数 大学生 1回	参加者34名 個別相談6件	若林区保健福祉センター
食育推進連携事業「Morning Vegetable ～朝食に野菜を～」	若い世代 子育て世代	・管内関係機関と連携し、朝食摂取率向上のための啓発活動を行う ・保育所、幼稚園、学校、大学等に標語の浸透、ポスターの掲示 ・（新）レシピ集を活用した啓発活動（児童館等でのモーベジ健康講座：試食・デモを交えた講座） ・（新）高校（家庭科授業）、大学生（若い世代向けモーベジポスター制作事前レクチャー）の中でモーベジの啓発と食習慣についての講話	2回 通年 児童館6回、大学生1回 高校生 5回 大学生 1回	小学校での講話・調理実習 児童延べ108名、保護者8名 児童館48組（104名）大学生6名（東北工業大学ティアワー） 高校生 147名 大学生 25名	太白区保健福祉センター
大学生を対象とした食育	大学生等	①食育月間に合わせ、朝食についてのポスターを配布。 《①-A-1再掲》 ②大学生協まつり等で食育のブースを設置し、野菜クイズ等の体験学習の場を設置する。あわせて栄養相談、情報提供も行う。 （大学生生活協同組合との協働により実施） ③学生食堂、寄宿舎等に、食生活についての卓上メモを設置。	①1回 6月 ②3回 10～11月 ③10月～	①8施設 ②3施設 354名 ③8施設 200ヶ	泉区保健福祉センター
地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	小・中・高校生及び保護者	生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等をテーマにした健康教育	2回	参加延べ数 170人	宮城野区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

・事業所等での生活習慣病予防に関する情報提供、健康教育、相談会（商工会・業種別組合・消防団・事業所等と連携）

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
若い世代の健康づくり支援事業	専門学校職員	・職員の健康意識の調査や、職員向け研修会の実施	調査1回 研修会2回	調査5校 99名 研修会10校 44名	青葉区保健福祉センター
事業所での健康教育		・事業所で働く方を対象とした生活習慣病予防のための健康教育の開催		事業所1か所、10名	宮城総合支所
健康情報の提供	タクシー事業者 理美容組合員等	・働く方を対象とした健康教育 ・顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	①タクシー 6回 ②理美容 6回 ③スーパー 1回	①延べ30事業所 ②延べ237店舗 ③200枚配布	宮城野区保健福祉センター
職域と連携した健康づくり事業	宮城野交通 (タクシー事業者)	・働く方を対象とした健康教育	1回	参加者71名	宮城野区保健福祉センター
職域と連携した生活習慣改善のための事業	働き盛りの男性	・生活習慣病予防のための健康づくり講座	3回	参加者 156名	若林区保健福祉センター
生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	・中小企業「同友会」と連携を取りながら、情報発信や健康教育等を行う。 ・事業所への健康教育は随時	2回	29名	太白区保健福祉センター
働き盛り世代への食情報の発信	働き盛り世代	・消防団健康教育、スポーツレクリエーション大会時に情報提供 ・商工会及び小中学校父兄向けに資料での情報提供 ・旅館、企業を巡回しての健康管理担当者からの情報把握と食情報の提供	9月 4回 2月 1回	・消防団 52名 ・商工会 35名 ・小中学校 4校(356名) ・旅館及・企業12か所巡回 ・スポレク大会 85名	秋保総合支所
生活習慣改善事業	働き盛り世代	・地域のスーパーマーケットとの連携による体験型生活習慣病予防イベント	1回 9月	栄養コーナー延べ372名 個別相談9件	泉区保健福祉センター
地域健康教育	働き盛り世代	・商工会等団体との連携により、健康教育の実施	4回	延べ 83名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります

・低栄養予防、生活習慣病予防のための講習会、健康講座（町内会・老人クラブ・社会福祉協議会等と連携）

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
男性のための料理教室	地域の男性	・正しい食習慣を身に付け、色々な料理が作れるように、簡単でおいしい料理を紹介し、腕を上げてもらう	予定なし		仙台市食生活改善推進員連絡協議会
食生活改善普及事業（野菜を食べよう料理講習会）	一般市民	・簡単に野菜を多く取り入れた料理を普及し、糖尿病などの生活習慣病予防のための食生活改善を促すための講習会を実施する	12月25日（宮城食改） H26.1月20日（秋保食改）	親子で野菜を食べよう講習会 33名参加 野菜を1日5皿食べよう講習会 幼稚園児の母親 15名参加	仙台市食生活改善推進員連絡協議会
ヘルスマイトが「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業	40～70歳代の地域住民	・地域と世代をつないで「減塩」と「野菜ワンプレート」の普及をテーマに、料理講習会を実施する。 ・お隣さん、お向かいさんを訪問し、塩分測定器「減塩くん」を使い、みそ汁の塩分チェックと野菜ワンプレートの普及に努める。	H26.2月6日実施予定（宮城食改）		仙台市食生活改善推進員連絡協議会
地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	一般市民	・町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等での、低栄養予防、骨粗しょう症予防、生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	実施回数 28回	参加者延べ数 669名 開催時の個別相談 14件	各区保健福祉センター 総合支所
生活習慣改善教室	一般市民	・生活習慣病予防のための教室	11月28日	参加者 4名	宮城総合支所
介護予防グループ健康教育	介護予防グループ会員	実施予定なし	予定なし		秋保総合支所
生活習慣改善講座	40代～60代	・生活習慣病予防のための教室	2月 2回	参加者延8名	秋保総合支所
介護予防事業スキルアップ研修	介護予防運動サポーター	・介護予防運動サポーターが地域で継続的に活動できるよう、健康的な食生活を実践できるよう支援する	2回 11月	延べ 58名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

- ・特定健康診査、基礎健康診査後の事後指導、特定保健指導
- ・健康づくり相談・講座、訪問指導

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導や生活記録から個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し、運動・食事指導を中心とした生活習慣改善の指導を実施した。また、生活習慣病を原因とした慢性腎臓病が増加していることから、平成25年度より腎臓の機能を測定するための検査として血清クレアチニン検査を追加し、疾病の早期発見・早期治療に努めた。	平成25年7月～平成26年3月	特定健診実績（7～10月・1月） 79,459名（被用者健診含） 基礎健診実績（8～10月・1月） 32,564名（訪問含） 動機付け支援実績（7～12月） 485名	仙台市医師会
特定保健指導	特定保健指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	通年		各区保健福祉センター 総合支所
基礎健診保健指導・事後指導	基礎健診保健指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援		53件	各区保健福祉センター 総合支所
あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談（講話内容：骨粗しょう症予防、血糖が高めの方へなど）	12回（月1回）	講話6回86人／個別相談延べ40名	青葉区保健福祉センター
健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施		未実施	宮城総合支所
健康づくり相談	一般市民	・健康づくりのための食生活相談	7回 (5・9・10・11・12・1・3月)	延べ数10人	宮城野区保健福祉センター
健康生活講座	一般市民	・健康づくりのための食生活講話、演習	2回 (11月・1月)	延べ数27人	宮城野区保健福祉センター
健康づくり講座、相談	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	11回	講座参加者 253名 健康相談会参加者 42名	若林区保健福祉センター
生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための教室	年1回（3回コース）1回目実施	延べ39名	青葉区保健福祉センター

HbA1c要指導者の生活習慣改善支援事業	HbA1c要指導者	・内容検討中	実施せず	宮城野区中央市民センターまつりで糖尿病予防の啓発を実施(①-E-1に計上)	宮城野区保健福祉センター
糖尿病予防講座	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための講座	1/29 2/4 2/10 の3回 コースで実施予定	①31名 ②29名 ③21名	太白区保健福祉センター
高血圧予防講座	特定健診・基礎健診結果高血圧予防の生活習慣改善指導が必要な者	・高血圧予防のための講座	3回 11, 12, 2月	延べ 70名	泉区保健福祉センター
生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	通年	40件	太白区保健福祉センター
健康づくり相談	一般市民	・相談とミニ講話による食生活や生活習慣改善のための支援	月1回 ミニ講話4回 9, 10, 12, 2月	個別相談33件 ミニ講話65名	泉区保健福祉センター
食生活・栄養相談	一般市民	・訪問, 電話, 来所による栄養相談	通年	訪問相談 23件 電話等での相談 575件	各区保健福祉センター 総合支所
被災者の食生活支援	仮設住宅等入居者	・仮設住宅集会所, 中核支えあいセンター等での食生活相談 ・地域被災者健康相談等での講話, 食生活相談 ・訪問, 電話, 来所による食生活・栄養相談 ・区役所の被災者支援事業での食生活についてのグループワーク(泉区) ・料理サロン(宮城野区)	講話・相談会 76回 グループワーク 1回 料理サロン1回	参加者数 804名 個別相談 5件 グループワーク参加11名 料理サロン参加17名	各区保健福祉センター 総合支所

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

・健康づくり関係のイベント、講座等で、和食などバランスのよい献立の考え方や、食事バランスガイドの活用方法の情報を発信

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
歯と口の健康づくり 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月8日	504名 豆つかみ・折り紙・栄養相談 60名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発	11月23日	参加者数 630名 スタッフ 140名 公開講座 100名 大盛況でした	宮城県栄養士会
健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、調理実習も加えて普及・啓発する。 第1回 高血圧 「1食2.5gの調理の工夫」 第2回 脂質異常症 「食物繊維摂れてますか」 第3回 糖尿病 「糖尿病食は健康食」	7月29日 8月27日 9月26日	参加者25名（希望者47名） 参加者25名（希望者40名） 参加者25名（希望者47名） 大盛況でした	宮城県栄養士会
栄養ヘルスダイヤル 《①-A-1 再掲》	一般市民	・健康や栄養、食生活、生活習慣病に関して、電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。	通年	6件	宮城県栄養士会
栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	①医療機関での栄養指導 ②特定保健指導 ③市民センター、幼稚園、児童館、福祉協議会、支援センター等の栄養講話や、調理実習	① 通年 ② 通年 ③ 30回	①担当者 10名 ②担当者 22名 ③延べ 645名	宮城県栄養士会
マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など	月1回 通年	病院、診療所、福祉施設、公共施設へ7万部配布	宮城県栄養士会
みやぎまるごとフェスティバルへの参加	一般市民	・もしもの時のちを支える「食」 非常食（缶パン、レスキューフーズ）の試食と展示 非常食のアイデアレシピ		今年度は不参加	宮城県栄養士会
SKY（仙台介護予防）大作戦への参加	一般市民	・バランスのよい食事について展示 ・栄養相談（バランスチェック）	11月10日	栄養相談 45名	宮城県栄養士会
矯正施設における栄養講話	在園生	・青葉女子学園において災害時の食事について講話	実施せず		仙台市地域活動栄養士会
子供のための災害絵本への協力	企業	・日興美術株式会社（東京）による「子供のための災害絵本」への協力	途中終了		仙台市地域活動栄養士会

市民センター・児童館の食育講座の講師派遣	一般市民	・調理実習や栄養講話	10月18日 11月14日 7月23日 8月10日 12月17日	12名 親子 5組 15名 親子 16組 24名	仙台市地域活動栄養士会
リーフレット「非常時の離乳食」作成	一般市民	・リーフレット「非常時の離乳食」の作成	継続中		仙台市地域活動栄養士会
まるふあ会復興縁日出店【新規】	子育て中の親	・非常食の紹介と試食	10月27日	試食60名分	仙台市地域活動栄養士会
男性のための食育講座・料理教室	地域の男性	・健康のための食事づくりや料理の基本について学ぶための、講話と調理実習を組み合わせた教室	予定なし		宮城総合支所
男性のための料理教室	仮設住宅居住の男性	・仮設住宅入居の、1人暮らしの男性、高齢者のみの世帯の方を対象に、栄養のバランスについての知識を深め、簡単な調理法を知ること、閉じこもり予防のための交流のきっかけとなることをねらいとして、太白区役所で月1回講座を開催する。 ・中核支えあいセンターと共催で、サロンでの調理実習を取り入れた男性向けの講座を開催する。	6月から12月 区役所4回 サロン3回	延べ28名 延べ37名	太白区保健福祉センター
各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりサポート店、生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	各区役所、総合支所に設置	各区保健福祉センター 総合支所
区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介、活用方法の普及など ・クイズや演習など、媒体を活用した展示等	区民まつり、地域イベント等 計 8回	食育関係ブース等参加者 延べ 1,612名	各区保健福祉センター 総合支所
健康増進普及月間事業	一般市民	・高血圧等健康づくりに関する講演会 ・市政だより、ホームページ、庁内放送、パネル展、資料配布等による普及啓発	9月	講演会等 5回 参加者延べ 518名 個別相談 19件	各区保健福祉センター 総合支所
各種研修会、講座、相談事業における情報提供	一般市民	・健康教育や生活習慣病予防講座、健康相談などで、食事バランスガイドの活用方法などを普及	随時	各区役所、総合支所ごとに随時実施	各区保健福祉センター 総合支所
被災者向け健康情報紙の発行	仮設住宅居住者等	・栄養・健康情報、レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を作成し、仮設住宅等に配布する	宮城総合支所2回 若林区6回 太白区9回 泉区 1回	延べ発行部数 宮城総合支所486部 若林区 13,046部 太白区 4,800部 泉区 660部	宮城総合支所 若林区、太白区、 泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

- ・店舗や施設内で、食生活情報や食事バランスガイドの活用方法などを発信《拡充》
- ・メニュー等への栄養成分表示等実施店（健康づくりサポート店）の登録推進

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
新・食生活提案の展開	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやぎ生協は“食”をだいに健康づくりをすすめます」として、4つの基本テーマに沿った食生活提案をすすめる中で、その実践として『たべる・たいせつ・実習編』を開催予定 	仙台市では生協文化会館（ウイズ）で10月9日に開催	「みやぎ生協は“食”をだいに健康づくりをすすめます」として、4つの基本テーマに沿った食生活提案をすすめる「みやぎ生協の食生活提案」の紙芝居を改訂しました。実践として、「たべるたいせつ料理教室」は県内5ヶ所で「日本型食生活」をテーマに開催しました。参加者91人（仙台1回 22人）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
食育活動委員会の活動	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に興味のあるメンバーが18名登録 ・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら、「たべる・たいせつセミナー」や「5A DAY食育体験ツアー」の運営を行う 	通年。年間10回の委員会を開催	食育に興味のあるメンバーが20人登録し、みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら「たべる・たいせつ料理教室」や「5ADAY食育体験ツアー」の運営を行いました。（委員会10回開催）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
スーパーマーケットの啓発活動《①-A-1 再掲》	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用した食情報の提供 	通年		日本チェーンストア協会東北支部
食育サポーターの活動支援	食育サポーター	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの食育イベントでの食育サポーターの活動支援 		実施せず	宮城野区保健福祉センター
健康づくりサポート店推進事業	一般飲食店、給食施設、食料品等販売店 一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー等へ栄養成分表示や食事バランスガイド表示をする店舗（健康づくりサポート店）の登録を推進 ・健康づくりサポート店を市民に周知、栄養成分表示等の活用方法などを啓発 	通年	登録数 238店舗 相談・指導件数延べ7件 登録PR活動 延べ171店舗	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所

取り組みの方向性 ①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-F-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます
 ・保育指針に基づき、食事のマナー、食習慣、食事前後の衛生習慣などの働きかけ

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
保育所における食育の充実	保育所入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 各施設において、食育計画に基づいた活動計画を作成し、保育の中で食育を展開する 毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける 各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。 	通年 通年：1,495回 通年：971回	<ul style="list-style-type: none"> 年間食育計画・活動計画は全施設で作成し実施している。 41,916名（公立） 43,439名 	保育所 保育所連合会 子供未来局

具体的な取り組み ①-F-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます
 ・作物を栽培・収穫し食べる体験
 ・収穫物を給食に利用
 ・市場の農水産関係業者による料理体験教室

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
歯と口腔の健康づくり教室【新規】	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、食生活リズムと歯の健康についての寸劇、講話を実施。	11月12日		仙台歯科医師会
こども園における食育の充実	園児	・子供が食べ物に関心が持てるよう、食育を楽しく学ばせる。	6月～12月 (毎月1回) 計7回	毎回15名	仙台・みやぎ消費者支援ネット
こども園における茶道体験		・お菓子を食べ、抹茶を飲みながら、食育の一環として日本文化（礼儀作法等）に関心を持ってもらう	3月 1回予定	15名予定	仙台・みやぎ消費者支援ネット
畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所入所児童	<ul style="list-style-type: none"> 畑作りの年間計画をたてる 子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。 収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。 	通年（4月～9月）	<ul style="list-style-type: none"> 公立44施設、私立66施設 収穫した回数 2,112回（公立） 食した延人数：87,143名（公立） 	保育所 保育所連合会 子供未来局
食べる事が楽しくなる食育	園児と保護者	<ul style="list-style-type: none"> おいしいと感じること、体験することを重視し、また、食育情報として子どもの様子を知らせたり、食のマナーについて伝えていく 箸の持ち方について保護者にアンケートを取り、実態を把握し、正しい箸の持ち方を遊びの中で取り入れて獲得できるようにしていく。 	通年 1～2月	250名	幼稚園 私立幼稚園連合会

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

・子育て世代向け、乳幼児・小学生とその保護者向けの体験講座《拡充》（保育所・幼稚園・児童館・市民センター・社会学級等と連携）

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
魚を題材とした食育活動 《①-A-5再掲》	小学生・教員 大学生	・丸ごと1尾魚を調理し、生物を食べることを知る。加えて本年度は缶詰などの身近な加工品を使って、魚料理が作れる体験も行なった。（平成22年度より継続）	5月11日	児童18名、大学生6名	宮城学院女子大学
「おいしい放課後」 ジュニア 《①-A-5再掲》	中学生	仙台市福沢市民センターにおいて、地域の中学生が参加する取組を行った。中学生の放課後活動であることから、「おいしい放課後」ジュニアとした。参加中学生が数名であることから、中学生と相談してメニューを決めて進めた。12月には地域の方をお呼びして交流活動も行った。	8月10日 10月14日 12月22日	延べ中学生16名 大学生10名、地域の方2名	宮城学院女子大学
ランチ作り隊 《①-A-5再掲》	小学1～3年生	夏休み中に、児童クラブに通う児童や地域の児童を対象に昼食作りを行い、家庭での実践につなげられるようにした。4日間実施したが、希望者が多かったため、1日に2クラスに分けて実施した。また、小学4年生から中学2年生と大学生が、参加者のサポートにあたった。（平成22年度より継続）	8月6、7、 21、22日の計 4回	延べ参加者数 小学1～3年149名 小学4～中2年60名 大学生28名	宮城学院女子大学
さくらっこニコニコ キッチン 《①-A-5再掲》	小学1～中学 2年生	大学近隣の桜ヶ丘地区の児童生徒による月1回の活動。上記「食を通した子どもと高齢者の交流」「魚を題材にした食育活動」はこの活動の中で実施されたものである。基本的に活動内容は参加児童ともに決める。また、各回2～3名のリーダーの児童と大学生が具体的なメニュー等を決めながら進めている。11月には家族を招いて活動報告を行う。（平成21年度より継続）	4月～12月まで 月1回計9回	延べ参加者数 小学生171名 中学生31名 大学生55名	宮城学院女子大学
親子料理教室・大人 のお魚教室開催	親子・成人	①食育NPOと共催し、「お魚がきっと好きになる料理教室」「大人のお魚教室」を開催。宮城の旬の魚介類を素材に、調理や学習の援助を実施 ②震災後の子どもたちに食の大切さを考えてもらい、食べることは楽しいことを実感してもらおう「親子キッチン」「キッズキッチン」を開催した。	通年	①各4回開催 参加者各77人、72人 ②参加者各113人、4人 その他親子・子どもを対象に、産消直結めぐみ野品やコープ商品の学習と調理実習を行う、「親子でつくろう旬を楽しむお家ごはん♪」「コープ商品で作る親子クッキング」などを開催した。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぶらんど」を活用した料理教室を開催	通年 22回開催	延べ182名	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

ホーム&キッチン&ダイ〜仕事、家庭、ときどき料理〜 《①-A-5再掲》	父親世代	仙台市宮城野区中央市民センターで、父親が食事作りに参加することで、家族での共食が増えることをねらいとした取り組みを行った。8月には家族を交えた食事作りも実施した。大学生にとっても、社会人に接する機会となっている。月1回18:30~20:30。	4月~10月まで 月1回計7回	延べ参加者（父親世代） 90名、大学生35名	宮城学院女子大学
父親育児参加推進事業 のびすく仙台 「パパ sキッチン」 のびすく長町南 「パパ sキッチン」	2人目（以上）の子供を持つ（持つ予定）の父親	・父親が参加しやすい土日にガスサロン・市民センターを会場に料理教室を開催	のびすく仙台 6/16,12/1 のびすく長町南 10/26	のびすく仙台 6/16…父親4名 12/1…父親12名 のびすく長町南 10/26…4組14名	子供未来局
母と子の食育教室 （今日もバクバク元気っ子くらぶ）	幼児と保護者	・児童館での食育講話とクッキングやクイズ等を組み合わせた体験型教室	5回	参加延べ数 43組	宮城野区保健福祉センター
市民センターにおける講座等開催	男性や親子等	・調理実習や食に関する講座等に家族で参加することを通して、食事に関心を持ち、料理の仕方を身に付ける機会等を提供	通年	18館で22事業を実施し、667人が参加した。 講座名例：「パパのアウトドアクッキング」「こどもたちのためのなか・ベジ・クッキング」「家族で楽しむ季節のお菓子」「つくってみようMyキャラ弁」	教育局 （生涯学習支援センター）
市民センター・児童館の食育講座の講師派遣 《①-E-1再掲》	一般市民	・調理実習や栄養講話	10月18日 11月14日 7月23日 8月10日 12月17日	12名 親子 5組 15名 親子 16組 24名	仙台市地域活動栄養士会

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

- ・子供や親子を対象とした、産地見学、収穫体験、料理教室、スーパーマーケット体験
- ・地域のなかで幅広い年代が参加できる食育教室

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
食を通じた子どもと高齢者の交流 《①-A-5再掲》	小学生 大学生 高齢者	・大学周辺の桜ヶ丘地域の小学生・大学生・高齢者が食を通して交流する機会を設け、昔のおやつ物語探検、お弁当プレゼント、茶道体験、クリスマスパーティーなどを通して、互いを知る。（平成22年度より継続）	6月15日(おやつ) 9月7日(弁当) 10月12日(茶道) 12月21日(クリスマス)の計4回	延べ参加者数 小学生76名 お年寄り10名 大学生24名	宮城学院女子大学
ガス局料理教室への講師派遣	成人	・料理教室と栄養講話	34回	延べ 464名	仙台市地域活動栄養士会

親子の食育教室	児童と親	・親子で色々な料理にチャレンジし、料理をつくる楽しさを親子で体験する	(宮城食改) 12月20日	大倉地区5, 6年生親子20名	仙台市食生活改善 推進員連絡協議会
			12月21日	地域住民の親子30名	
生涯骨太クッキング 教室 【新規】	地域の住民	平成25年度テーマ「ロコモティブ・シンドローム予防」 ・毎日の食卓に牛乳・チーズなどの乳製品を取り入れることで、「カルシウム不足」の改善を目指しながら規則正しい食習慣と食事バランスを身につける。	12月12日 (秋保食改)	15名	仙台市食生活改善 推進員連絡協議会
5A DAY食育体験 ツアー	小学生	・2005年から実施している「5A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会室を活用して食育の授業を行うもので、今年度も継続開催する	5～12月	仙台市内15小学校で40回開催。1378名の参加。	宮城県生活協同組合 連合会（みやぎ生協）
食品の浄化を学ぶ料理 教室（消費者市民 講座）	一般市民	“身体にやさしい料理教室”～きめ手は浄化～ 食材の浄化方法を伝えながらの料理教室を開催	11月12日	20名	仙台みやぎ消費者 支援ネット
スーパーマーケット 体験学習	小学生	・小学生を対象としたスーパーマーケット体験学習の実施	10月 2回 12月 3回 計5回	参加学校 2校 参加児童数 131名	日本チェーンストア 協会東北支部
子供の食育講座	小学生	・児童館・児童センター等と共催により、調理等の体験型の講座を通して、食事の大切さ、食べる楽しさを学ぶ	8回 5～2月	172名	泉区保健福祉セン ター

具体的な取り組み ①-G-3 若い世代の食事づくり体験を応援します

- ・若者から若者に伝える講座
- ・関係主体が協働で実施する、若い年代対象の体験講座や体験型イベント【新規】

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
大学生の食育活動 「おいしい放課後」 《①-A-5 再掲》	大学生	・大学生が、自分たちの食生活をよりよくしていく力を養うための講座「おいしい放課後」を企画・運営する。 (平成19年度より継続)	7月5日、11月5日 の計2回	大学生65名	宮城学院女子大学
若い世代への食体験 講座	子育て世代	・食生活の基礎を、調理実習等を交え楽しく具体的に伝え、実践につなげる パパ'sキッチン(のびすく長町南と共催 ①-G-1)	10月26日 1回	4組 延べ14名	太白区保健福祉セン ター

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

・保育所・幼稚園の給食の献立や行事に、行事食や郷土料理を取り入れ、給食の展示、献立表、おたより等で保護者に紹介

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
保育所給食における食文化の継承	保育所入所児童と保護者	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。併せて献立表や給食だより、展示などで行事食などを展示し、家庭への食育を促す。	通年・671回	53,974名	保育所 保育所連合会 子供未来局

具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます

・学校給食の献立に取り入れるとともに、献立表、給食だよりで保護者に紹介

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりで紹介し、家庭における食育を促す。	随時	各学校において、随時実施した。	小・中学校 教育局

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

・地域のまつり、イベントでの情報発信

・伝統野菜、行事食の講座・学習会、新米試食会等地域の食材を活用した講座

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
食育月間、みやぎ地区まつりでの紹介	一般市民	・地域の食材を使用した料理の紹介 ・レシピ配布	11月4日 1回	子供向け 試食・レシピ配布60人 一般 試食50人・レシピ配布100人	宮城総合支所
保健センターまつりでの情報発信	一般市民	・市民センターまつりと共催で行い、地域の情報発信	10月 3回	延べ973名参加 個別の栄養相談26件	太白区保健福祉センター
健康のつどいででの普及啓発	一般市民	・地域の各団体との共催事業である「健康のつどい」の会場において、郷土料理や地域の食材を紹介するブースを設置	11月 1回	一般・幼児 試食・食の情報提供・レシピ配布157人	秋保総合支所
子育てについてのイベントでの情報発信	子育て中の保護者とその子ども	・いずみおやこフェスティバル《①-A-2再掲》 郷土料理・手作りおやつ紹介 季節の野菜・イモの実物展示 等	1回 10月	467名	泉区保健福祉センター
市民センターにおける講座等開催	一般市民	・若い世代や転入者などが、地域に伝わる食材や料理、食文化等について学んだり、実際に調理する機会を提供する。併せて、世代間の交流、地域への関心や理解の深まり、地産地消促進等を図る。	通年	18館で23事業を実施し、734人が参加した。 講座名例：「郷土料理を作ってみっぺ」「復刻 自慢の郷土料理」「おらほのごっつお」「伝統食を食卓に」	教育局 (生涯学習支援センター)
地元農家に伝わる料理の講習会開催	一般市民	・仙台市農業園芸センター加工棟を使用して外部講師による市民を対象にし、地元で伝わる料理で農家が昔から作っている家庭料理の講習会を開催する。	通年	1～3月で3回開催 延べ18名参加	経済局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します
 ・地域、団体、行政の協力体制により、保育所、学校給食に地場産品を活用

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
保育所給食における地場産物の活用推進	保育所入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。 また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。 	通年 6月・8月・11月・2月に地場産物の活用について調査を実施(公立)	生産者から直接購入：22か所 地場産物活用率：平均27.0%（公立）（8月29.4%） 保護者への働きかけ：429回	保育所 保育所連合会 子供未来局
「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> 6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。 	6月	単独調理校、給食センターにおける地場産物の活用状況について調査を実施。【地場産物活用率28.7%】	教育局
学校給食への地場産物を活用した食材の提供【新規】	児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> せんだい産雪菜を活用し、市内生産者、事業者との連携により開発した「仙台あおば餃子」を市内学校給食で提供する。 	6月の「せんだいっ子給食月間」に市内8校で提供	6月10日（鶴谷小学校） 6月12日（松陵中学校） 6月13日（岩切小学校） 6月19日（田子小学校、南光台東中学校、市名坂小学校） 6月20日（榴岡小学校） 6月28日（中野栄小学校）	経済局 教育局
JA仙台食農教育プラン「2013」の実践	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食の食材（米・野菜等）の供給 	通年	米は、給食センターへ 野菜は、小学校7校（榴岡、宮城野、原町、幸町南、高砂、岡田、鶴巻）	農業協同組合

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

- ・スーパーマーケットの県産農林水産物を活用した商品開発や、消費者向け学習会、伝達活動
 - ・テレビ番組、ホームページでの情報発信
 - ・せんだい産農産物表示マーク（愛称:こでちゃん）の普及
 - ・地産地消サポーター事業
 - ・市場見学への対応

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
地場商品の普及活動の実施	一般市民	・宮城県産を主な使用原料とする商品や、みやぎの食文化を伝える商品を「地産地消」の表示をつけて、広く市民に知らせる	通年	毎月第一週末の「地産地消の日」には、宮城県産を主な使用原料とする商品やみやぎの食文化を伝える商品を「地産地消」のロゴを使って商品のお奨めをし、広くメンバーにお知らせしました。	宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）
食のかたりべ活動	一般市民	・食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う	通年	食に興味のあるメンバー47人が登録し、みやぎ生協の食品の安全総合政策を学んで他のメンバーに伝える活動を行いました。養成講座及び産地研修会(計6回)に参加して、メンバーのつどい会場でかたりべ活動を行いました。	宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）
食育体験ツールの提案	一般市民	・野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の「新・食生活提案」の紙芝居を提案。親も子も気軽に取組めるきっかけづくりとして好評で、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる	通年。	野菜の花から野菜の名前をあてたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールやみやぎ生協の「食生活提案」の紙芝居を提案し、たべるたいせつ料理教室やつどい会場で活用しました。	宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）
スーパーマーケットの地産地消の取り組み	一般市民	・県産農産物、加工品を活用した商品開発、販売による地産地消の推進			日本チェーンストア協会東北支部
NHKテレビ「食達いちばん」	一般市民	・宮城県産を中心とした旬の食材と、その美味しい食べ方等を紹介する	放送回数 49回		経済局

せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここでちゃん）の普及	一般市民 生産者 販売店 飲食店	①ここでちゃんマークやマーク使用許可申請（生産者や小売店等による野菜包装紙や啓発リーフレット、直売所等店舗看板への表示）について、ホームページやガイドブック、広報誌等で広く周知する。 ②「仙台産農産物PR事業」（緊急雇用創出事業）において、「ここでちゃん」キャラクターを活用した各種イベントやスーパー、直売所などでのPR普及活動を行うほか、地元飲食店シェフによる料理教室や地元飲食店が地元食材を活かした料理を開発、提供する仙台産農産物フェアを開催し、せんだい産農産物の認知度を高める。	通年	①マーク使用許可申請（2件）、地産地消ガイドブック発行（毎年3月改定） ②「ここでちゃんキャラクター」を活用したPR普及活動（41回） 地元飲食店シェフによる料理教室（12回） 仙台産農産物フェア（8～3月に市内和食・イタリアン・フレンチの飲食店4店舗・27種類のメニューで開催） 仙台産農産物使用促進（協力飲食店30店舗で実施）	経済局
地産地消サポーター推進事業	消費者 生産者 販売店 飲食店	・地産地消に意欲のある消費者、生産者、販売店、飲食店等を「仙台市地産地消推進サポーター」として登録し、地産地消関連の情報提供や生産現場等の見学会等を行うことにより、地産地消に対する理解を深める。	随時	各種サポーター登録人数 ()内は今年度新規登録人数 ・消費者219名(14) ・生産者79名(4) ・販売店87名(1) ・飲食店70名(3)	経済局
小学校、一般市民などの市場見学への対応	一般市民	・食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらう。	実施時期(回数) ①随時 ②8月(2回)	①管理課 88団体1600名 ②業務課 (夏休み親子市場見学会) 26組 61名	経済局
ホームページでの情報発信	一般市民	・学校、仙台市教育委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	1月	学校給食に関する情報やレシピ集等の照会をホームページでも発信した。	教育局

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

- ・生産者と消費者の交流イベント
- ・大学生や一般消費者対象の産地見学

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
産地見学会	一般市民	・生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する	通年	年間57回開催 参加人数のべ1781名	宮城生活協同組合 連合会（みやぎ生協）
キッズスクール	組合員の子ども	・子ども達が水環境について学ぶ。その一環として農産生産者の圃場を訪ね、生産交流を行う。（平成24年度） 養鶏場を訪ね畜産の現場を体験する。（平成25年度）	7月6日～7日	子ども24名 大人21名	宮城生活協同組合 連合会（あいコープみやぎ）
生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。 山形県飯豊町放牧牛乳生産者「ながめ山農場訪問」 広報誌に生産者訪問記を掲載する。（あいぶらんど通信） その他生産者訪問	ながめ山訪問6月8日/あいぶらんど通信月1回/その他訪問通年14回	ながめ山訪問 190名/あいぶらんど通信のべ21人/その他生産者訪問のべ171人	宮城生活協同組合 連合会（あいコープみやぎ）
食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や、農薬について専門家の話を聞き、自分達の食生活を見直す 今年度は遺伝子組み換えについての学習会を開催。	10月8日	61名	宮城生活協同組合 連合会（あいコープみやぎ）
産地体験会	大学生	・学生食堂で利用している食材の産地体験会を開催し、生産者と交流しながら食材の収穫を行う	7月7日と 10月6日の2回	2回合わせて84名の参加。 普段は講義等で机に向かって いる学生さんが、土に触れて のびのびしている姿が印象的 だった。	宮城生活協同組合 連合会（大学生協）
消費者と生産者の交流	一般市民	・地産地消の産直交流	予定なし	予定なし	仙台みやぎ消費者 支援ネット
仙台市旬の香り市	一般市民	・市内の農家で組織された「仙台市旬の香り市実行委員会」のメンバーが、栽培した野菜や米、花き、農産加工品等の直売を行い、販売を通して消費者との交流を図る。 ①仙台市農業園芸センター内 ②仙台市勾当台公園グリーンハウス勾当台前 ③その他	①4月～10月（15日間） ②6月～11月（6日間） ③4月、8月（2日間）	出店数（延べ店舗） ①71店舗 ②27店舗 ③5店舗	経済局

地産地消サポーター 推進事業	地産地消推進 サポーター	・仙台市地産地消推進サポーターとして登録された消費者、生産者、販売店、飲食店の各サポーターを対象として、仙台市内の生産現場や地産地消に取り組む販売店、飲食店、農家レストラン等の合同見学会を行う。	①第1回 6月15日 ②第2回 10月31日	参加者数 ①13名 ②17名	経済局
地産地消講演会	一般市民	・一般市民を対象として地産地消に関する講演会を開催し、地産地消の普及啓発を図る。 テーマ：「元気な街づくり農業・園芸～地産地消に夢をのせて～」 講師：恵泉女学園大学人間社会学部人間環境学科 教授 藤田 智 場所：仙台市農業園芸センター内	11月17日	参加者数 78名	経済局
収穫まつり開催	一般市民	・生産者と消費者等の相互交流を図るための収穫まつりを行う。	11月17日・ 18日	出店数（延べ店舗） 46店舗 来場者数 19,128名	経済局

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

- ・農業施設見学、農業体験の場の提供と農作業体験指導
- ・レクリエーション農園、学童農園等の運営支援

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	・「産直ミニたんぼ」を3店舗に設置し、メンバーと一緒に稲を育てる ・秋には稲刈り体験を実施	4月～10月	仙台市内3店舗に「産直ミニたんぼ」を設置しました。バケツ稲の栽培は17店舗538名が参加しました。秋には育てた稲を持ち寄って栽培コンテストを実施しました。	宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）
農業体験の実施	一般市民	・あいコープの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理していただく。実りの秋には稲刈りをします。	5/25田植え 6/15草取り 7/6生き物調べ 10/12稲刈り	大人22名、子ども35名 大人31名 子供32名 大人33名 子供30名 子供29名 大人28名	宮城生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
JA仙台食農教育プラン あぐり塾の開催 〔拡充〕	一般市民	・第3期生20名を募集し、稲作・野菜（プランター）・果樹を設定と、座学講習 稲作：田植え、生きもの調査、稲刈り、新米試食会等 野菜：プランターでコンパニオンプランツ（シシトウ・シソ・ラディッシュ・芽キャベツ・カモミール・マリーゴールド）を2鉢実施 4月と8月に苗を配布 果樹：着色管理と収穫作業 座学：農協について、施設見学、豆腐づくり	4/20開塾式 5/18田植え 6/22生きもの調査 7/27農協を知ろう 8/24施設見学 9/21稲刈り・りんご 10/19新米試食会 11/23りんご収穫 12/14豆腐づくり 1/25終了式	10回開催し延べ162人参加 野菜のプランター栽培は、2回に分けて苗を配布し栽培管理を指導し、各自宅で栽培を実施	農業協同組合
JA仙台食農教育プラン 学童農園	小・中学生	1. 農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ○田植え 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小 ○生きもの調査 新田小 ○だいこん種まき 白百合学園中等部 ○稲刈り 馬場小、新田小、生出小、大沢小 ○じゃがいも播種・収穫 杉の子保育園 2. 出前講座（野菜栽培について） 市内幼稚園保育士研終会に講師参加	田植えは5月から6月上旬実施 生きもの調査は6・7月実施 稲刈りは10月実施 大根は8/29 出前講座は8/9	地区の青年部が指導を主に実施。	農業協同組合

JA仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座 〔拡充〕	小・中学生	・地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大豆使用） 高砂小、八乙女小、太白小、利府しらかし台小、桜丘小、八木山南小、七ヶ浜松ヶ浜小、小松島小、愛子小、住吉台小、国見小、湯元小、七郷小で実施 1月以降は、柳生小、生出小、榴岡小、八本松小、宮城野小、西多賀小、東六郷小、八木山小、利府第2小で実施。	10/10、10/18、11/1、11/7、11/15、11/21、11/29、12/5、12/13、12/17、12/19、1月以降 1/24、1/28、1/30、2/5、2/7、2/13、2/21、2/27、3/7	延べ16日、42回開催 1,704人	農業協同組合
レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民、児童	・市民や子どもたちが「農」と触れあい、体験できる機会の充実を図るため各種農園設置へ支援を行う。 (レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応)	随時	平成25年学童農園実施校 77農園64校 (中学校2、小学校42、幼稚園12、保育園8)	経済局
地域行事での食育	小・中学生	・田植えや収穫などの農業体験活動	通年	各学校、学年による	仙台市PTA協議会

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します
・生産者が地産地消推進、地域活性のために実施する栽培指導、体験ツアー、料理教室等への支援

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用したの商品開発を継続して行う ・「食のみやぎ復興ネットワーク」を結成し、宮城県内の農業・漁業関係者や食品関連産業が、互いに励ましあい、県内素材を使った地元加工品の商品開発を行う	通年	食の分野の復興を支えようと「食のみやぎ復興ネットワーク」で、被災地での原材料使用や加工の実施など地元企業と協力して復興に協力する商品を2013年度も開発・供給しました。塩害を受けた畑の復興と伝統野菜の復活の仙台白菜プロジェクト。津波被害を受けた岩沼に、塩害に強いなたねを植え収穫して、「菜の花はちみつ飴」、「菜の花オイルのしょうがドレッシング」を、宮城県産いちじくを原料とした「蔵王いちじく甘露煮、ジャム、いちじく(乾燥)」、亘理町で生産したそば粉を原料とした「復興亘理そば」等を「食のみやぎ復興ネットワーク」プロジェクトとして、商品開発を行ないました。	宮城生活協同組合連合会（みやぎ生協）

あいごはんアイデア集作成	組合員	組合員から寄せられたあいづらんど商品を使ったアイデアを募集し、そのアイデア集を作成し、組合員に配布した。		200部作成。40品目掲載	宮城生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
地産地消サポーター推進事業	一般市民	・見学会やイベント、ホームページ等を活用し、せんだい産農産物をPRする。	通年		経済局
エコファーマーフェア	一般市民	・農薬や化学肥料を減らした栽培を行っている仙台市内のエコファーマーが、栽培した米、野菜、花き等の販売を行う。	11月6日・7日 （勾当台公園市民広場で開催）	出店数（延べ店舗） 14店舗	経済局
米オーナー事業	一般市民	・市民が米のオーナーとなり、農家の指導を受けながら米の栽培を行い、収穫した米を受け取る。 内容 ①田植え ②生育見学会 ③稲刈り （市内4ヶ所：若林区荒井、泉区根白石、泉区朴沢、太白区坪沼）	①田植え 5月 ②生育見学会 8月 ③稲刈り 9・10月	参加者数 ①45名 ②30名 ③56名	経済局
市場見学会とガス局料理教室への協力	小学生と保護者	・ガス局料理教室の前に、親子で市場を見学し、生鮮食品流通の仕組みなどを勉強する	実施日： 7月26日	市内在住の小学生の親子 10組 24名	経済局 （事業主体：ガス局）
保育所等サンマ教室への協力	保育所等入所児童	・おさかな普及協会が、保育所等に出向き、サンマの炭火焼を体験させ、子供達の魚食への興味と関心を深めてもらう	実施時期 9～11月 実施回数 述べ10回	参加団体：6団体 参加人数：1,200名 提供サンマ尾数：1,500尾	経済局 （事業主体：仙台おさかな普及協会）
Morning Vegetable～朝食に野菜を～のレシピ配布	一般市民	・食育推進連携事業の一環として、たいはく朝市の来場者に、販売される旬の野菜を使った野菜料理レシピを、朝市の出店者を通して配布する	4月～12月 15回	延べ421部	太白区保健福祉センター

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

- ・パンフレットでの情報提供や街頭での呼びかけ
- ・地域への出前講座や食の安全サポーター、一般消費者向けの講座等
- ・食品の安全性に関する相談

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
消費者市民講座	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け講座の実施 ①講演会：商品表示の一元化と食の安全について ②講演会：宮城の環境にやさしい農産物認証制度をご存じですか ③研修会：仙台市中央卸売り市場と食品監視センターの見学会～安全性のチェック体制は？ ④講演会：放射性物質からの食の安全は守られているのか？あいコープみやぎの取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ①10月2日 ②10月11日 ③10月25日 ④11月6日 	参加者数 ①17名 ②10名 ③15名 ④18名	仙台みやぎ消費者支援ネット
広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活に関連する様々な情報を提供し、注意喚起や意識啓発を促す。 	年6回発行	<ul style="list-style-type: none"> ・発行時期：5, 7, 9, 11, 1, 3月 ・発行部数：@9,000部×6回 	市民局
ホームページによる情報提供	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・食品表示に関する情報の提供。 	随時	随時	市民局
消費生活センター内情報コーナーでの情報発信	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関のほか、各種団体の啓発資料等を設置し、市民への情報提供の場とする。 	随時	随時	市民局
食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食品に関する様々な情報を市民に発信する。 ①消費者月間記念講演会の開催 ②消費生活講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ①開催日 5月25日 ②開催日 1月30日 	<ul style="list-style-type: none"> ①テーマ：「食の情報のウソ、ホント？～安全な食品の選び方・食べ方とは～」 ・参加者数：153人 ②テーマ：「おらほの郷土食～地元の魅力、再発見！～」 ・参加者数：65人 	市民局
仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から成人まで、発達段階に応じて消費生活の知識を楽しく学べる消費者教育ウェブサイト「伊達学園」を開設。 	開設日 H26. 3. 7	随時	市民局
	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し、市内の小中学校に配布。 1 めざせ！買い物名人（小学校高学年用リーフレット） 2 めざせ！賢い消費者 伊達なくらし入門（中学生用副読本） 	年1回	配布部数 1 10,008部 2 10,048部	市民局

食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	【健康福祉局】518件 (各区保健福祉センター、食品監視センター、食肉検査所) 【経済局】検査数122検体 (野菜102、林産物20)	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する ・保育所(園)における給食一食全体の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	・(学校)使用する食品の検査結果、1食分検査結果の情報を随時発信している。 ・(保育所(園)) 給食用食材:259件掲載 給食一食全体:210件掲載	子供未来局 教育局
食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館(詳細及び概要版)6,000部作成、 ストップ・ザ・食中毒 4,000部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	6月6日実施 1月16日実施	テーマ:BSE対策の見直しについて(121名参加) テーマ:食品の安全性に向けたイオンの取組み(119名参加)	健康福祉局 各区保健福祉センター
食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座(担当テーマ:安全・安心の食生活)における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申し込みの都度	市政出前講座:4回、64名 市民向け食品衛生講習会: 57回、629名	健康福祉局 各区保健福祉センター
食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時対応	健康福祉局 各区保健福祉センター
せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	年6回(予定)	6回実施	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います

・食品営業施設，給食施設を対象とした監視指導

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	138,993件	健康福祉局 各区保健福祉センター
給食施設立入検査	特定給食施設 条例に基づく 給食施設	・健康増進法に基づく特定給食施設，条例に基づくその他の給食施設に対する，栄養管理，衛生管理指導	通年	特定給食施設 延べ168件 その他の給食施設 延べ 154件	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-3 食品関係業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します

・ホームページやファクシミリによるタイムリーな情報の提供

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
ホームページによる食品衛生情報の提供 《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
ファクシミリによる食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリによる食品衛生情報の提供	随時実施	102回、8,230件	健康福祉局 各区保健福祉センター
食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館（詳細及び概要版）6,000部作成、 ストップ・ザ・食中毒 4,000部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-4 食品関係業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います

・食中毒の危険性の高い食品を取り扱う業者を対象とした業種毎講習会

事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	随時実施	166回、7,089名	健康福祉局 各区保健福祉センター
食品等事業経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業経営者セミナーの開催	10月31日	テーマ：「食品の信頼性確保 トップセミナー」普段着の HACCP～今日の世界標準 HACCPと今後の動向～ （134名参加）	健康福祉局 各区保健福祉センター